

施策番号	0501		
施策名	生活安全（防犯・事故防止）の推進		
概要	関係機関との連携を強化しながら、防犯のための啓発や環境づくり、交通安全のルールやマナーの啓発を行うとともに、地域における防犯・事故防止の取組を支援する。		
担当局・部室	文化市民局・市民生活部	共管局・部室	
上位政策	5 市民生活の安全		
施策に関係する 主な分野別計画等	生活安全（防犯・事故防止）基本計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	交通事故による死者数(人)	b	b	45	34	35人以下	102.9%	a	1.00
2	交通事故による死傷者数(人)	a	a	9,155	8,369	10,920人以下	123.4%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	24	143	207	102	57	533	c
		4. 5%	26. 8%	38. 8%	19. 1%	10. 7%		
2	事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	37	208	175	69	43	532	c
		7. 0%	39. 1%	32. 9%	13. 0%	8. 1%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c	
(重み付けの理由) 「交通事故の死者数」などの客観指標の数値よりも、市民が安全を実感した「体感治安」の向上の方がより安全対策の効果の現れと言えることから、市民の実感に重みを置くこととする。						25年度
(原因分析) 【客観指標】●交通事故発生件数は、警察による取締りや関係機関による啓発、道路環境の整備、車両の安全性の向上等が相まって、平成元年以降は平成13年をピークに減少傾向にある。 ●交通事故による死者数については、過去最少であった平成20年と同数(34人)まで減少したことで目標を上回り、評価はb→a評価に改善された。 ●交通事故による死傷者数については目標を大幅に上回るペースで減少しており、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】いわゆる「体感治安」を示す市民の実感については、自治組織・警察・行政による取組が比較的信頼されているが、犯罪や事故等は身近に起こりうるものであるとの実感があることから、市民生活実感総合評価では昨年度に引き続きc評価となっている。						24年度
						B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	安全・安心なまちづくりに向けた環境施設再整備事業	545,426	21,362	—	環境政策局
2	違法駐車等防止対策事業	181,940	185,675	かなり良い	行財政局
3	防犯推進委員連絡協議会助成	1,784	1,784	かなり良い	文化市民局
4	生活安全条例に基づく施策の推進	84,269	97,905	かなり良い	文化市民局
5	交通安全対策の推進	78,579	97,024	良い	文化市民局
6	京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例の推進	71,270	71,023	普通	文化市民局
7	犯罪被害者支援策の推進	21,398	21,030	普通	文化市民局
8	野生鳥獣による生活環境被害防止対策及び自主防除組織支援対策	29,339	31,648	かなり良い	文化市民局
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 「体感治安」の向上が課題となっていることから、小学校区や元学区単位で、地域住民（各種団体）と区役所・支所、学校、警察署、消防署等の関係機関が連携して形成された学区の安心安全ネットワークに対して、防犯、防災、子どもの安全、地域福祉などの幅広い分野で地域特性に応じた取組の継続を応援するため、補助金、防犯活動支援物品の貸出し、NPOなどによる防犯・交通安全出前講座及び京都府警察が設けた学生防犯ボランティア登録制度である、ロックモンキーズとの防犯合同啓発を実施する。
- 平成24年度から創設した自治連合会や町内会といった地域団体を対象とした街頭防犯カメラの設置促進のための補助制度を、平成25年度から2箇年に渡り大幅に増額して実施しており、引き続き街頭防犯カメラの設置数増加に向けて取り組んでいく。
- こうした事業により、防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策など、身近な安心・安全の確保のための、市民の自主的な活動を応援する。

施策名	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進				
-----	------	------------------	--	--	--	--

指標名	交通事故による死者数（人）					
-----	---------------	--	--	--	--	--

担当課	くらし安全推進課		連絡先	222-3193		
-----	----------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

交通事故発生から24時間以内の死者数

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年	25年		数値	根拠	達成度
数値	45	34	11人減	35人以下	平成22年の目標値（40人以下）と、平成32年の目標値（25人以下）から、各年度の目標を等差的（-1.5人/年）に算出	102.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		25人以下	32年度	64.0%	第2次生活安全基本計画

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

24	25	26
b	b	a

指標名	交通事故による死傷者数（人）					
-----	----------------	--	--	--	--	--

担当課	くらし安全推進課		連絡先	222-3193		
-----	----------	--	-----	----------	--	--

1 指標の説明

交通事故によって負傷し、治療を要する者の数（交通事故発生から24時間以内の死者数を含む。）

2 指標の意味

交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都市主要統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年	25年		数値	根拠	達成度
数値	9,155	8,369	786人減	10,920人以下	平成22年の目標値（12千人以下）と、平成32年の目標値（8,400人以下）から、各年度の目標を等差的に算出	123.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		8,400人以下	32年度	100.4%	第2次生活安全基本計画

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価
・以下20%刻みでb～e評価

7 評価結果

24	25	26
a	a	a